

環境保全のための取り組み

その1. パソコン省エネ設定運動

CO₂を削減する方法は…

京都大学が排出するCO₂の90%以上は電力、ガス、石油類などのエネルギー使用に伴うものです。従って京都大学では、省エネルギーを中心に環境配慮行動を進めています。特にパソコンの使用は、ほとんど全ての構成員にかかわるものです。

京都大学で取り組んでいる身近な場面での環境配慮行動を、あなたもやってみませんか。

詳しくは詳細版28ページへ HP▶<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/profile/environment/report/index.htm/>

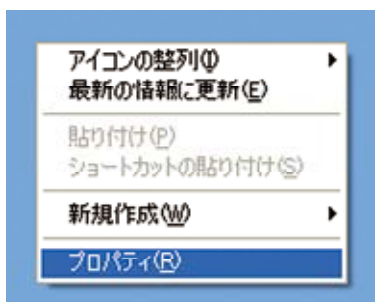
レッツ!

いちにち
いちエコ

パソコン省エネ設定運動を進めています(設定の方法)

※設定の方法はOSの種類によって若干違います。下記の設定方法はウィンドウズXPにおけるものです。

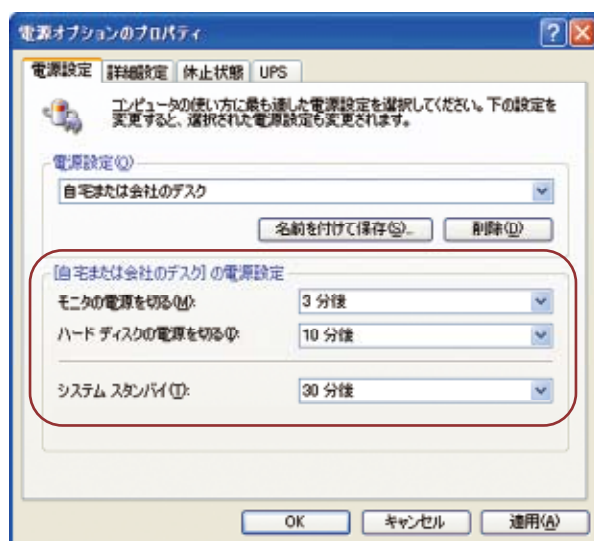
1. デスクトップ上で右クリックをし、一番下の「プロパティ(R)」をクリックしてください。



2. 画面のプロパティが出てきます。「スクリーンセーバー」のタブをクリックしてください。一番下にある「モニタ電源」の項目にある「電源(O)」ボタンをクリックしてください。



3. 電源オプションのプロパティが出てきます。「電源設定」タブ内にある電源設定を行ってください。



電源設定の例

- モニタの電源を切る → 3分後
- ハードディスクの電源を切る → 10分後
- システムスタンバイ → 30分後

4. 変更できましたら右下の「適用」ボタンを押し「OK」ボタンをクリックしてください。これで設定は完了です。

この設定をすることによってパソコンの消費電力を**10%削減**できます!

※本学で実験的に行い検証した結果より

その2. レジ袋削減運動

京都大学では「廃棄物による環境負荷の低減」として、「レジ袋削減」について取り組みました。京都大学独自のスタイルで行ったこの取り組みは、社会的にも注目を集めています。

詳しくは詳細版 10 ページへ HP▶<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/profile/environment/report/index.htm/>

京都大学スタイル=非有料化

学内店舗でこれまで行っていた「レジでの袋詰め」を廃止し、支払いの際に**必要との申し出があった方だけにレジ袋を無料で配布する**というものです。

一般的な有料化によるレジ袋の削減運動と比較して、購買利用者がより主体的に必要性を判断する仕組みとなっています。

2007年より京大生協にて取り組みを始め、2008年1月からは、ローソン(NLS京都大学店)でも始まりました。

レジ袋削減キャンペーン開始を宣言する記者発表



京都大学の呼びかけで、生協の取り組みにローソンも加わりました。(左から尾池総長、ローソン篠崎執行役員、E-COOP水嶋君)

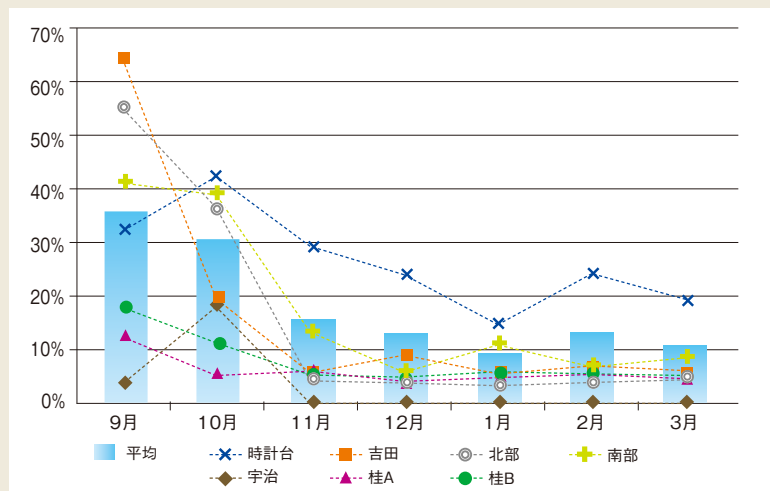
キャンペーンによる使用率の変化は？

生協の全店舗のレジ袋使用率は、取り組み開始前の2007年10月に比べ、取り組み開始後の11月は半減しました。(右図参照)

ローソンでの使用率の変化は下表のように、大幅に削減しています。その後も購買利用者の理解が進み、使用率も減少傾向にあります。

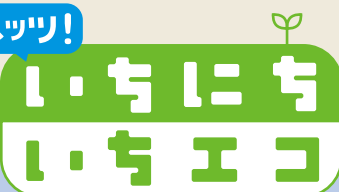
ローソン(NLS京都大学店)での使用率変化

期 間	使用率
2007年3～12月(実施前)	63.8%
2008年1～3月(実施後)	29.8%



生協におけるレジ袋使用率の推移 (2007年度)

レッツ!



マイバッグの活用を!

学内店舗では、店頭でのマイバッグ販売のほか、新入生ガイダンスでの配布や、バッグのレンタルも実施しています。京都大学内では、レジ袋はもらわないスタイルが広がりつつあります。しかし世間では一般的に、学生のレジ袋辞退率は低いと言われています。小さな積み重ねは、廃棄物削減やライフスタイルの変化として大きな成果になります。お気に入りのマイバッグを見つけて、大学内外で活用しましょう。